

令和4年度 学校評価アンケート 集計まとめ

○それぞれの質問項目に対して、「4：あてはまる 3：まあまああてあまる 2：あまりあてはまらない 1：あてはまらない」の平均値を評価点として示しています。

○評価点が3.5以上であれば、「十分に評価できる」、3.0以上であれば「概ね評価できる」、3.0未満では、「何らかの問題点や課題がある」と考えています。

○質問項目に対するそれぞれの回答の割合（円グラフ）は、みさき小ホームページをご覧ください。

○児童アンケートは、質問を具体的にしているため、対応する質問番号が示してあります。※ホームページの児童アンケート結果をご参照ください。

| | 設 問 | 対象者 | 評価点 | コ メ ン ト |
|---|---|-----|-----|---|
| 1 | 学校教育目標の達成に向けてしっかり取り組んでいる。 児童アンケート 1～3番 | 保護者 | 3.4 | 児童アンケートでは、特に「みんなで協力して生活している」について、よい評価をしていました。学校統合し、人数が増えたことで人間関係の幅が広がった児童が多いと思います。その中で他者と協力して活動できていることは素晴らしいことです。今後も、教育活動全体を通して、一人一人がお互いのよさを認め合い、支え合い、協働して活動できる児童を育てていきたいと思っています。 |
| | | 子ども | 3.2 | |
| | | 教師 | 3.6 | |
| 2 | 授業で話し合い活動やタブレット端末の活用を取り入れるなど、主体的・対話的で深い学びの実現に向け、しっかり取り組んでいる。 児童アンケート 4～7番 | 保護者 | 3.4 | みさき小学校では、「確かな学力を育む授業づくり」を目ざして授業に取り組んでいます。そのために、授業の中で、考えをもつ・書く・伝え合う活動を取り入れています。児童アンケートでは、「自ら進んで発表している」について、やや低い評価でした。今後、どの児童も自信をもって主体的に意見発表できるよう、対話の形態の工夫やタブレット端末の効果的な活用などについて、検討していく必要があると考えています。 |
| | | 子ども | 3.0 | |
| | | 教師 | 3.2 | |
| 3 | 子どもたち一人一人に応じた学習指導（個別最適な学び）を進めている。 児童アンケート 8～9番 | 保護者 | 2.9 | 現在、学校では、誰一人として取り残すことのない学びの実現に向けて、児童一人一人の特性や学習進度、学習到達等に応じて効果的な指導を行うことを意識して取り組んでいます。引き続き、課題設定や学習の見通しのもち方、課題解決の方法など、さまざまな支援について教師も学び研修するとともに、そのための学習環境を整備することも課題であると考えています。今後も小規模校の利点を生かした取組を更に進めてまいります。 |
| | | 子ども | 3.2 | |
| | | 教師 | 3.4 | |

| | | | | |
|---|---|-----|-----|--|
| 4 | 「あいさつ・返事・はきものそろえ」の指導や、道徳科の授業を中心に道徳教育の推進にしっかりと取り組んでいる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">児童アンケート 10～14番</div> | 保護者 | 3.3 | 児童のアンケート結果を見ると、挨拶・返事等については、概ねよい評価となっています。家での習慣も関係していると考えられますが、しっかりと取り組んでいただいていることに感謝します。道徳科の授業は、全学年同じ時間に設定し、「考え、議論する道徳」の実現に向けて取り組んでいます。今後、児童がよりよく生きるための道徳性をさらに養えるよう、教師一人一人が授業力の向上を旨としていきたいと思ひます。 |
| | | 子ども | 3.4 | |
| | | 教師 | 3.2 | |
| 5 | 豊かな心を育むため、読書指導にしっかりと取り組んでいる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">児童アンケート 15番</div> | 保護者 | 3.3 | 学校では、朝の読書タイムや読み聞かせ、図書委員による取組により、本に親しむ機会を設定しています。児童のアンケート結果から、多くの児童は本に親しむ習慣ができているように感じますが、読書量に個人差が大きいことが課題となっています。今後、改めて読書指導を見直していきたいと考えています。 |
| | | 子ども | 3.4 | |
| | | 教師 | 2.9 | |
| 6 | 運動への関心を高め、体力向上に向けて授業や課外活動等にしっかりと取り組んでいる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">児童アンケート 16番</div> | 保護者 | 3.2 | 生活習慣の変化やコロナの影響等により、全国的に児童の体力が落ちてきているという現状があります。学校では、体育の授業を中心に、運動量が確保できるように取り組んでいます。また、委員会発案のなかよし班遊びや、ジョギングタイム等に取り組むことにより、外に出て体を動かす機会を設けていますが、体力向上の意識に個人差が大きくなっています。今後は、継続的に運動に親しむ企画や、施設・設備面で環境を整えていくことも課題であると考えます。 |
| | | 子ども | 3.0 | |
| | | 教師 | 3.0 | |
| 7 | 健康に対する実践的態と感染症の拡大防止にしっかりと取り組んでいる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">児童アンケート 17～19番</div> | 保護者 | 3.4 | 児童のアンケート結果を見ると、特に、歯みがきについてよく意識して取り組んでいることが分かります。また、手洗い・うがいなどの感染症対策もしっかりと身に付けています。しかし、約4分の1の児童が「早寝・早起き・朝ごはん」で自己評価が低く、心身の健康への影響が懸念されます。基本的な生活習慣の大切さについて、学校と家庭が連携して取り組む必要があります。 |
| | | 子ども | 3.4 | |
| | | 教師 | 3.8 | |

| | | | | |
|----|---|-----|-----|--|
| 8 | 子どもや保護者と信頼関係を築き、いじめや体罰、児童虐待の防止にしっかり取り組んでいる。 児童アンケート 20～21番 | 保護者 | 3.0 | 児童と保護者の評価と教師の評価の差が気になるところです。児童が安心して学校生活を過ごすためには、教師との信頼関係は大切な要素になります。そのためにも、教師は児童と誠実な態度で接し、共感的な理解を心がけることが必要であると考えます。また、児童の健やかな成長は、学校・家庭・地域の共通する願いです。それぞれがよい関係を築けるように、学校全体でより意識して取り組んでいきます。 |
| | | 子ども | 3.0 | |
| | | 教師 | 3.5 | |
| 9 | 通信、ホームページ、メール等で保護者や地域の方に教育活動の情報発信をしている。 | 保護者 | 3.7 | アンケート結果を見ると「あてはまる」という回答が7割近くに達し、高い評価をいただいています。直接、地域の方から評価の言葉をいただくこともあります。今後も、高い即時性を生かし、発信・受信双方のニーズに応じた丁寧な情報発信に努めていきます。 |
| 10 | 子どもを通わせたい学校となっている。 | 保護者 | 3.3 | 学校統合し、みさき小学校となって約1年が経ちます。児童の姿を見たときに、魅力ある学校、安心できる学校となっているかということは、常に意識すべて視点です。評価点を見ると、概ね評価をいただいていると考えますが、さらに多くの方に、統合の成果を実感していただける学校づくりに努めてまいります。 |
| 11 | 学校統合により、子どもはより充実した学校生活を送ることができている。（本年度のみの質問） 児童アンケート 22～23番 | 保護者 | 3.3 | 児童のアンケート結果を見ると、「大井小と師崎小が一緒になってよかった」と「みさき小はよい学校である」の質問に対して、約72%の児童が「あてはまる」と答えました。学校統合したことで、児童にとって、大きな変化のある一年であったと思います。アンケート結果から、多くの児童は順応して前向きに生活できているようですが、そうでない児童もいること分かります。児童本人の困り感に寄り添い、より一人一人に目を向けた指導・支援体制づくりに努めてまいります。 |
| | | 子ども | 3.6 | |
| | | 教師 | 3.5 | |